

平成 26 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉西高等学校

学校長 松本 清治

評価日		平成 26 年 6 月 6 日 (金)				
委員	氏名	年齢	性別	資格・所属等	委員長	
	野津 伸治	52	男	鳥取短期大学教授	○	
	水野 保	67	男	進路指導アドバイザー		
	加藤 晋彦	57	男	倉吉市立西中学校長		
	石原 美樹	47	女	新日本海新聞社・記者		
	中島 真子	48	女	P T A 副会長・保護者代表		
評価・提言				学校の所見・改善策等		
<p>1. 前年度の最終評価について 特になし</p> <p>2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について 特になし</p> <p>3. 今年度の評価計画について</p> <p>(1) 目標設定について ・特になし</p> <p>(2) 目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業である「ふるさと大好き人間育成事業」は評価に値する。卒業生の多くが地元で活躍しているが、地元のことを知らない若者が多い。事業の推進に期待したい。また、各地の情報収集に努めるとともに、その活用を深めてほしい。</li> <li>・「ふるさと大好き人間育成事業」を何のためにやるのかという狙いを、生徒に周知しておくことが重要。地元再生の鍵を高校生が握っている。</li> <li>・教職員からの提示だけでなく、生徒自らがふるさとの良さを探していくような方向付けをしてやると良い。</li> <li>・西高の生徒は、ボランティア活動にも積極的に参加している。他人の喜びを体感することは重要であり、率先して取り組んでいることは評価できる。</li> </ul> <p>(3) 評価基準及び評価指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価表の形式について、具体的項目の評価欄を設け、該当項目ごとに評価を行い、それを総合した評価とした方が意識しやすい。</li> </ul>				<p>→本校の存在意義を表出する事業として、意欲的に取り組みたい。早速、ステージ1の生徒対象の講演会を企画している。</p> <p>→チャレンジグループ活動等をとおして経験させてやりたい。</p> <p>→ボランティア活動を生徒に奨励している。明日の山陰未来walkのボランティアには、33人が参加予定。</p> <p>→評価欄に具体的項目ごとの評価欄を設定。併せて、生徒の現状欄に状況が分かりやすいよう工夫を加えた。</p>		

- ・自己評価に関する種々のデータ類は提示していただけるか。

→生徒アンケート結果、過年度比較等を、送付させていただく予定。

### 3. 学校運営や予算に関する提言

- ・今年の倉西高は、大きく飛躍しそうな雰囲気がある。チャンスをぜひつかんでほしい。

→生徒の中にも、創立100周年を迎えるという潜在意識はある様子。努力したい。

- ・授業、教科書の学習内容と実生活とをどう結びつけるかが大切。中学校でも努力しているが、高校ではどのように取り組んでいるか。

→授業の中で実生活とのつながりなどを説明するなど心がけている。授業アンケート結果でも、社会問題を考えるようになったという生徒が、少しずつ増えている。

- ・キャリア教育の柱はインターンシップ経験である。大学生でも自分の人生プランニングができにくくなっている状況がある。教育活動の中で、自分がどのように生きるのかを考えるきっかけを作ると良い。

→チャレンジグループ活動を十分に活かし、人生設計を考えさせたい。

- ・インターンシップ体験を、1学校だけの取組ではなく、全県的な取組として、仕事の本筋を体験することが重要。できれば1年次が望ましい。

- ・地元でどのような企業や会社があり、その仕事が他県、日本、世界とどのようにつながっているかということ、生徒に指導してやってほしい。生徒に地元における居場所を考える機会があると良い。

→そうしたことを指導する機会は設定できていない。今後、検討したい。

- ・鳥取県には大企業は少ないが、逆に伸びしろのある企業はある。生徒が将来に夢を持てるような話をしていくことが大切。

- ・社会を広く見て、考えて、将来を目指す機会を作ってやってほしい。若い世代はチャレンジすることが大切。若者のチャレンジする選択肢を増やすのが大人の努めである。

→チャレンジグループ活動を有効に活用したい。

- ・生徒が、倉西高に在籍して良かったと思うような取組、生徒に「倉西プライド」を持たせてやるような取組を期待したい。

→取組の意味を見直し、生徒がそうした思いを持てるよう、様々な場面で仕掛けたい。

- ・倉西高は、人間力の育成がポイント。その達成に向けて特色のある活動に取り組んでおり、評価できる。そうした活動に熱心に取り組んでいただいている先生方の頑張りを評価したい。

※学校関係者評価委員からの意見として、地元、ふるさと、倉西を愛する生徒の育成に取り組んでほしい思いが強く感じられた。学校の目指す方向と合致しており、今後もベクトルあわせをして、教育活動に取り組みたい。

- ・地元を愛する心、倉西高にいて良かった、倉吉に住んで良かったと思う生徒をぜひ育成してほしい。